

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 21年度7月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 21年度8月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、1998年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

2008年4月、市民にわかりやすくかつ迅速な情報提供を目指して、リニューアルを行いました。

今回は、2009年7月のアクセス件数、アクセス順位及び2009年8月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (2009年7月)

2009年7月の総アクセス数は、182,230件でした。主な内訳は、感染症51.7%、食品衛生18.2%、保健情報14.4%、検査情報月報3.7%、生活環境衛生2.2%、薬事1.8%でした。

(2) アクセス順位 (2009年7月)

7月のアクセス順位(表1)は、第1位が「マイコプラズマ肺炎について」、第2位が「大麻(マリファナ)について」、第3位が「感染症発生状況」でした。

国立感染症情報センターの報告によると、「マイコプラズマ肺炎」は、26週(2009年6/22～6/28)以降、定点当たりの報告数は減少していましたが、第31週(8月10～16日)から、3週連続で増加しています。過去5年間と比較すると、やや多い傾向に推移しています。

第2位に「大麻(マリファナ)について」が入りました。これは、7月初旬に、有名芸能人の覚せい剤所持・使用事件や合成麻薬MDMA関連の事件が相次ぎ、感心が高かったものと思われます。

第3位が「感染症発生状況」で、6月末から7月にかけて、国内において、新型インフルエンザが流行し始めたため、アクセス件数に影響したものと考えられます。

横浜市でも保育園、中高校、大学、医療機関等から集団発生の報告があり、学校における集団発生の多くは、部活動(合宿含む)による発生でした。

また、先月同様、感心の高かった「百日咳」と「B群溶連菌(Group B Streptococcus :GBS)」が上位10位に入りました。

「百日咳」の定点当たりの報告数は、過去5年間の同時期と比較してかなり多くみられています。

また、「B群溶連菌(Group B Streptococcus :GBS)」は、妊婦健診の検査項目として、公費負担の対象とする自治体もあり、以前よりも妊婦健診の検査項目として普及してきたことが、アクセス数の増加につながっていると考えられます。

表1 2009年7月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	マイコプラズマ肺炎について	9,604
2	大麻(マリファナ)について	9,524
3	感染症発生状況	2,393
4	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,352
5	性器クラミジア感染症について	2,310
6	梅毒について	2,066
7	サイトメガロウイルス感染症について	1,993
8	ちょっと専門的なデータシート	1,965
9	百日咳について	1,878
10	電子パンフレット(レジオネラ症を防止するために)	1,820

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ (2009年8月)

2009年8月にホームページのお問い合わせフォームを通していただいた電子メールによる問い合わせの合計は、4件でした(表2)。

表2 2009年8月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
新型インフルエンザの検査について	1	衛生研究所
魚肉練り製品の検査について	1	衛生研究所
寿司屋の衛生管理について	1	衛生研究所
メリアトキシンについて	1	衛生研究所

2 追加・更新記事 (2009年8月)

2009年8月に追加・更新した主な記事は、7件でした(表3)。

表3 2009年8月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
8月4日	横浜市における麻しん患者届出状況 (2009年)	更新
8月5日	感染症に気をつけよう(8月号)	追加
8月13日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新
8月20日	横浜市インフルエンザ等流行情報 1号	追加
8月20日	感染症に気をつけよう(号外)	追加
8月21日	粉ミルク(乳児用調整粉乳)を70℃以上のお湯で溶かすワケを知っていますか?	追加
8月26日	ウエストナイルウイルス(蚊)の検査結果	追加

【 感染症・疫学情報課 】